

3 回生 増本嘉浩さん



発想の転換でCO₂を資源に ～佐賀から世界へ～

- 1989年 4月 弘学館高等学校入学
- 1992年 3月 弘学館高等学校卒業
- 1993年 12月 熱気球パイロットライセンス取得
- 1996年 4月 佐賀市役所入庁
- 2007年 11月 第24回熱気球日本選手権優勝
- 2009年 11月 第26回熱気球日本選手権優勝
- 2018年 4月 企画調整部新産業推進課
二酸化炭素活用推進室長

(2018年12月現在)

佐賀市が生き残るために ～いかに外貨を獲得するか～

少子高齢化時代において、佐賀市も人口が減少しています。また、産業においてはほとんどが小規模の事業所であり、経営者の高齢化や人材不足に陥っており、佐賀県は廃業率で全国1位となっています。

このような中で、市民サービスの維持・向上を図る＝市として生き残るために、行政改革等によるコスト削減、企業誘致による産業の活性化（税収向上）に取り組んでおり、その中で私は域外の外貨を獲得する「営業職」として活動しています。

先の10年間は、食品加工業、伝統的工芸品製作者、独自の販路を求める農事業者の方々と一緒に東京や大阪などの大都市圏の消費者や料理人、百貨店バイヤー等に対して、また台湾を中心とした東アジア圏の富裕層に向けて直接的な売り込みを行ってきました。

今、世界は佐賀を見ている！ ～環境保全と経済循環の両立へ～

2018年からは、人事異動により、ゴミを焼却する清掃工場の排ガスから二酸化炭素だけを分離回収して、それを光合成促進に活用する植物工場や藻類培養事業者へ販売したり、新たな事業者を誘致する事業に取り組んだりしています。

この清掃工場由来の二酸化炭素の販売は、世界でも初めての取り組みということで、国内の大手企業や業界団体をはじめ、環境先進国であるヨーロッパ諸国などからも問い合わせや視察調査があるなど、物凄い事業であると感じています。

この追い風を利用して更なる外貨を稼ぎ出して、市民サービスの向上、ひいては佐賀市に住んで良かった、生まれて良かったという幸福度、満足度の向上にも繋げていければと思っています。



世界初の二酸化炭素分離回収設備

増本嘉浩さんのとある一日

- 8:30 出勤
- 10:00 企業訪問（新商品開発）
- 11:00 視察対応（企業進出関係）
- 14:00 企業訪問（販路相談）
- 16:00 企業訪問（販路相談）
- 18:00 市庁舎にて事務作業
- 19:30 帰宅

後輩へのメッセージ

在学当初は校内の方針に馴染めず、また人生の目標も見出せずに苦しみましたが、寮で友人達と夢を語りあったり、悩みを打ち明けたことで道筋が開けました。（私の場合は、熱気球パイロットになり、競技界で日本の頂点に立つことでした。）

色々悩んだり、学業で周りに取り残されている気がする君達、格好つけずに周りに自分をさらけ出して悩みをぶつけてみましょう。きっとそれに答えてくれるのが、高い目標を実現できる弘学館の良いところだと思います。